

5. おわりに

東よりの風が吹走するとき沿岸沿いに降る大雨の解析は山形(1964)などによって始められていた。

しかし本格的なとり組みは、その後の黒木(1970)などによる偏東風による大雨の解析で1967~1972年の間、予報則の開発に着手し、利用できるものが多い。また、当台の大雨資料(1973)の作成はその後の調査に大いに役立った。

1973年以降は中村(1973)による精力的な労作に負うものが多い。

今回の3か年計画による黒潮流域上における啓風丸などによる特別観測はわれわれに数多くの貴重なものを残してくれた。

この調査を行なうにあたり、気象研究所より研究費を、また多くの官署からその都度資料を提供していただいた。また本文の清書、作成などについては多くの方々の協力を得た。

厚くお礼申し上げたい。

文 献

- 福岡管区気象台, 1973: 種子島レーダエコーの観測ノート, 福岡管区気象台技術解説資料, 1-85.
 福岡管区気象台レーダ班, 1974: 福岡のレーダからみた九州の空, 天気, 21, 265-279.
 笠村幸男, 1974: 宮崎県における下層の東よりの風

- による大雨の解析, 天気, 21, 193-202.
 笠村幸男, 中村理祐, 1975: 1974年9月26日の九州南東部(日南・青島)の集中豪雨の解析, 研究時報, 28, 167-173.
 笠村幸男, 1976: 東よりの風による宮崎県の大雨, 大気, 16, 33-52.
 気象庁予報部, 1967: レーダ資料の予報への利用, 予報作業指針, 10, 1-154.
 気象庁観測部, 1973: 地方気象レーダ文献のまとめ, 昭和47年度レーダ技術打合せ資料, 1-108.
 気象大学校編, 1971: 気象衛星からみた日本列島周辺の雲分布解析, 日本気象協会, 1-32.
 駒林 誠, 1975: 雲物理と雨量予報, 天気, 22, 133-118.
 黒木義明, 1970: 宮崎県の大雨特性, 天気, 17, 103-607.
 宮崎地方気象台, 1973: 宮崎県の大雨資料(1966-1972), 1-239.
 中村理祐, 1973: 偏東風による大雨, 昭和48年度管内予報技術検討会資料, 29-51.
 中村理祐, 笠村幸男, 1974: 下層の東よりの風による大雨解析, 昭和49年度気象学会秋期大会予稿集, 74.
 殿村清人, 1975: 主として気象衛星写真よりみた中間規模低気圧とその鉛直構造について, 天気, 22, 63-71.
 山形英雄, 1964: 宮崎県の大雨調査, 西部管区気象研究会誌, 25, 13-18.
 渡辺忠夫, 1964: 南東風による宮崎県の大雨, 西部管区気象台研究会誌, 25, 19-21.

気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
昭和52年度 日本気象学会 春季大会	昭和52年5月24日~26日	日本気象学会	気象庁
第21回 山の気象シンポジウム	昭和52年6月18日	日本気象学会	気象庁 第1会議室
第11回 夏季大学「新しい気象学」教室	昭和52年7月26日~29日	日本気象学会	気象庁講堂
第14回 自然災害科学総合シンポジウム	昭和52年8月29日~30日		北海道大学工科大学部